

## 3月定例会のあらまし

平成25年第1回定例会は2月22日から3月21日まで開催し、報告5件、議案等94件が提案されました。

市長・教育委員長の施政方針に対する質問に続き、一般質問には21名の議員が登壇し、市長等の考えを質しました。議案審議は、「特別職の給与に関する条例の一部改正」や、「消防団員の定数等に関する条例の一部改正」、また、国の緊急経済対策に対応する補正予算などを審議し、いずれも原案可決しました。

3月7日から14日までの6日間、平成

25年度予算について特別委員会を設け14件にわたり審査し、最終日にいずれも原案可決しました。

常任委員会に付託した請願2件、陳情4件及び継続審査となっていた請願2件のうち、「バス交通計画についての請願」「地域包括支援センターの本庁集約の中止を求める陳情」は継続審査となりました。「広報紙、議会だよりの改革についての請願」「議員定数の現状維持を求める陳情」及び「奥州スマートインターチェンジ建設の凍結を求める陳情」はいずれも不採択とし、「消費税増税に反対する請願」は採択しました。また、「江

刺区内の診療所の存続と充実を求める陳情」については、常任委員会の審査結果は不採択でありましたが、本会議では賛成多数で、陳情を採択しました。さらに「県南広域振興局誘致についての請願」は、常任委員会の審査結果は採択でありましたが、本会議において継続審査すべきとの動議が出され、賛成多数で継続審査となりました。このことを受け市議会では、この請願を審査する特別委員会を設置しました。

議会最終日には、市議会議員定数を現行の34人から28人に改定する議員発議案が出され、賛成多数で可決しました。

## 議員定数「28」来春の市議選より適用

市議会議員の定数については、議会に設置されている議会改革検討委員会において検討を重ねてきたことをはじめ、常任委員会での議論、全員協議会や各会派での協議、また、市民と議員との懇談会でも話題にしてきました。議員の任期もあと一年と迫る中、今定例会最終日に、奥州市議会議員定数条例の制定について「現行の34人から28人

とする」議員発議案が提出され、賛成27、反対4で可決されました。このことにより来春3月に任期満了を迎える次期市議選からこの定数が適用されることとなります。

**質問** 28名とする根拠は何か。また、市民と議員の懇談会で、市民の意見をどのように捉えているか。

**答弁** 全国市議会議長会の調査では、奥州市と同

規模の自治体の平均が27人であること、また、市の総人口が減少していく中で市政課題の行財政改革の観点も考慮した。市民の意見も現状維持と大幅削減を求めている意見とがあったが、議会としては、諸情勢からして大幅削減ではなく、小幅な削減とする考え方が圧倒的に多かった。

## ○発議案第40号 奥州市議会議員定数条例の制定について

**反対討論** 全国市議会議長会資料も参考にして28人にするということだが、それぞれ人口・面積ともさまざまである。奥州市は広大な面積を有し、合併して7年経つが一体感の醸成がままならない状況の中で、市民の声が議会に通るのか懸念されることから反対する。

**賛成討論** 定数の大幅削減や現状維持または増員すべきなどさまざまであるが、市民の大方の意見は大幅削減ではなく、ある程度の削減はやむなしの声である。人口の推移は予想を上回る早いペースで減少の一途をたどり、また岩手競馬、水沢病院、土地開発公社の問題に一定の道筋がつけられたとはいえ、財政の厳しさは一段と増すものと想像される。一体感の醸成に向け市民と議員の懇談会等の回数を増やすなど配慮しながら、議会として一歩踏み込んだ今回の判断であり、条例制定に賛成する。

# 「28」へ

## の清算、解散に伴い責任